

令和6年(2024年)度行政評価シート【個表】 令和6年6月21日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 小関 雅彦	
健福-59	体育施設整備事業	■ 自治事務	主管課	スポーツ課
		□ 法定受託事務	関連課	

総合計画上 の位置付け	分野	4-(6) スポーツ・レクリエーション	施策の方針	4-(6)-①スポーツ・レクリエーションの推進
----------------	----	---------------------	-------	-------------------------

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等が身近な場所で気軽にスポーツ等に取り組めるよう、総合体育館やグラウンドの整備を行うため。
効果	スポーツ施設の適切な整備を行い、より多くの市民等の利用促進を図る。

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

総合体育館やグラウンドの整備に向け、スポーツ施設建設基金の積立を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度 指標(目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	達成度 予算額(千円)
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)		
01	スポーツ施設建設基金 管理事務	ふるさと寄付金積立	—	— / —	—	—	—
				10,092 /	9,357	5,564	
			国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	10,092 /	9,357	5,564	
			一般財源	0 / 0	0	0	
			事業費の合計(千円)	10,092 /	9,357	5,564	
			人件費(千円)		4,518	4,717	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等				0.5	0.5	
会計年度任用職員				0.5	0.5	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	スポーツ施設建設基金 管理事務	スポーツ施設建設基金は、本市のスポーツ施設の建設の財源に充てるものであり、指標の設定にはなじまない。	スポーツ施設の整備に大きく寄与するものである。	

(2) 視點別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間にによるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
		△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止
総合体育館やグラウンドの整備に向け、スポーツ施設建設基金の積立を行う。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
	指標設定理由		年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

◎他市比較（アマゾン事業者と他自治体・民間団体との比較値）							
比較事項	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	茅ヶ崎市
団体名							
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--